

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



ホームページ

2024.05.02

No.141



Twitter

申19号

提出！

立川統括センターの乗務員フロア等の設備改善を行い、安全を第一とした乗務業務に集中できる環境整備を求める申し入れ

2024年3月16日、「現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた統括センターの設置」に伴い、立川統括センターが設置されました。600名強の乗務員が乗務点呼執行や準備、食事、休憩等で利用するフロアについて支社は「間内改良を実施し、必要な準備は設置した」と回答しました。

しかし、3月16日の立川統括センター発足後には、現場では設備や備品に対する不備を訴える声が多く出されており、使用する社員の意見を反映したものではないことが明らかになりました。本来、これらの問題点については発生している職場で議論を行い、解決を目指さなくてはならない事柄ですが、現場の管理者は「職場に集団的労使関係はない、労働組合として話に来たのなら話は聞けない」との回答を繰り返し、現場で働く社員の声には一切耳を傾けようとはしません。

渡利副社長のメッセージに「鉄道を安全に運行するには絶対に守るべき安全の基準はどんな時でも守らなければならない、そのために必要なお金はきちんと用意します。どうか心配せずに業務にあってください」とあるように、安全の基準を守り心配せずに業務できる環境をつくるべきです。会社の真摯な回答を要請します。

申し入れ項目

1. 事故事象を他人事とせず、自らの問題に置き換え事故予防を図ると共に「ぶつかりあって議論する文化」の創造のために事故事象の共有化を行えるよう掲示板を設置すること。また、意識して「気づき」を豊富化するためのコミュニケーションが取れるスペースを確保すること。
2. 厳正な点呼執行が行えるように待機スペースと明確に区分すること。
3. 乗務員フロアにおいては、600名強の乗務員が使用するスペースにも関わらず、台所の流し台が1か所しかないことは非常識であり、かつ不衛生な状態が散見されることから増改修を行うこと。
4. 乗務員が乗務の中断（食事等）の際には、人間らしい生活を営めるようにすること。

（車掌関係）

1. 準備・締切作業時間等については、定められた時間では対応できないことから適正な時間を付与すること。
2. 大宮統括センター発足に伴い、大宮駅における乗務員のトイレ使用については大宮統括センター及び大宮駅お客さま用トイレを活用することと指導されていることについては、労働安全衛生法第71条の2に基づき、厚生労働大臣が定める指針に則り、これまで通りホーム上のトイレを使用出来るようにすること。
3. その他時間で駅業務を行う際は、乗車券類の精算業務は行わないようにすること。また、券売機前や改札口等での案内業務に特化した駅業務を行う際は、安心して業務を担えるよう必要な教育を行うこと。

（運転士関係）

1. 2024年3月ダイヤ改正において、1組2組化が実施されたことにより、在宅休養時間が確保することが出来なくなっているばかりか、自宅からの出勤が出来ないような交番順序となっていることは、働き方改革と逆行していることに他ならないことから見直しを図ること。